

生 理 学 (2)

教 授 小 野 武 年
助 教 授 田 村 了 以
助 手 永 福 智 志
助 手 上 野 照 子

◆ 著 書

- 1) Tamura R., and Ono T.: Neural substrate for spatial memory in the monkey hippocampus. In *Neuroscientific Basis of Dementia*, by Tanaka C., McGeer P.L., and Ihara Y. (Eds.) 43-48, Birkhäuser Verlag Basel, Switzerland, 2001.
- 2) 小野武年: 第6章 自律機能と本能行動, II. 視床下部と辺縁系. 「標準生理学 第5版」本郷利憲, 廣重力 監修, 豊田順一, 熊田 衛, 小澤静司, 福田康一郎, 本間研一 編集, 407-423, 医学書院, 東京, 2001.
- 3) 小野武年, 西条寿夫: 第7章 総合機能, B. 情動と動機づけ. 「標準生理学 第5版」本郷利憲, 廣重力 監修, 豊田順一, 熊田 衛, 小澤静司, 福田康一郎, 本間研一 編集, 437-441, 医学書院, 東京, 2001.
- 4) 小野武年, 西条寿夫: 第7章 総合機能, C. 学習と記憶. 「標準生理学 第5版」本郷利憲, 廣重力 監修, 豊田順一, 熊田 衛, 小澤静司, 福田康一郎, 本間研一 編集, 441-446, 医学書院, 東京, 2001.
- 5) 小野武年: 第2部 学ぶ脳, 2. 好きこそもの上手なれ. 「育つ・学ぶ・癒す 脳図鑑21」伊藤正男序文, 小泉英明編著, 237-270, 工作舎, 東京, 2001.

◆ 原 著

- 1) Yamaguchi H., Tamura R., Kuriwaki J., Eifuku S., and Ono T.: Effects of T-588, a cognitive enhancer compound, on synaptic plasticity in the dentate gyrus of freely moving rats. *J. Pharmacol. Exp. Ther.*, 298: 354-361, 2001.
- 2) Komura Y., Tamura R., Uwano T., Nishijo H., Kaga K., and Ono T.: Retrospective and prospective coding for predicated reward in the sensory thalamus. *Nature*, 412:546-549, 2001.
- 3) Nakada Y., Tamura R., Kuriwaki J., Kimura T., Uwano T., Nishijo H., and Ono T.:

Ameliorative effects of a cognitive enhancer, T-588, on place learning deficits induced by transient forebrain ischemia in rats. *Physiol. Behav.*, 74:227-235, 2001.

- 4) Nishimura T.F., Fukunaga T., Nishijo H., Ono T., Kajiura H., and Yokomukai Y.: Electroencephalogram spectral characteristics after alcohol ingestion in Japanese men with aldehyde dehydrogenase-2 genetic variations: comparison with peripheral changes. *Alcohol. Clin. Exp. Res.*, 25:1030-1036, 2001.
- 5) Kamiyama H., Kurimoto M., Yamamura J., Uwano T., Hirashima Y., Kurokawa M., Endo S., and Shiraki K.: Effect of immunity on gene delivery into anterior horn motor neurons by live attenuated herpes simplex virus vector. *Gene Ther.*, 8:1180-1187, 2001.
- 6) Li R., Nishijo H., Wang Q., Uwano T., Tamura R., Ohtani O., and Ono T.: Light and electron microscopic study of cholinergic and noradrenergic elements in the basolateral nucleus of the rat amygdala: evidence for interactions between the two systems. *J. Comp. Neurol.*, 439:411-425, 2001.
- 7) 小野武年, 西条寿夫, 山口英俊, 上野照子: ラット海馬体CA1錐体細胞層における細胞外集合スパイク電位に対する粗サポニン分画の抑制機構. *The GINSENG REVIEW*, 29:22-29, 2001.

◆ 総 説

- 1) Ono T., and Nishijo H.: Hippocampal role in cognitive functions and memory, and effects of a novel cognitive enhancer on learning deficits due to hippocampal lesions. *Psychogeriatrics*, 1:277-286, 2001.
- 2) 小野武年, 西条寿夫: 情動と記憶のメカニズム. *失語症研究*, 21:87-100, 2001.
- 3) 永福智志, 小野武年: 特集「記憶・学習の脳内システム」8. サルの情動と学習・記憶の脳内システム. *Brain Medical*, 13:361-369, 2001.

◆ 学会報告

- 1) 西条寿夫, 小野武年: 扁桃体一帯状回系における行動発現機構. 第78回日本生理学会大会, 2001, 3, 京都.
- 2) 田村了以, 西条寿夫, 小野武年: サル中隔核における情動と記憶のニューロン機構. 第78回日本生理学会大会, 2001, 3, 京都.
- 3) 小野武年, 西条寿夫, 柴田 孝, 宮本啓一: 双

- 極子追跡法によるヒトの顔誘発電位発生源の推定. 第78回日本生理学会大会, 2001, 3, 京都.
- 4) 高倉大匡, 梅野克身, 堀悦郎, 田渕英一, 宮本啓一, 小野武年, 西条寿夫: 音順列記憶課題におけるヒト事象関連電位に対する加齢の影響. 第78回日本生理学会大会, 2001, 3, 京都.
 - 5) 小村豊, 上野照子, 田村了以, 加我君孝, 小野武年: ラット視床後部領域の視・聴覚空間弁別課題におけるニューロン応答特性. 第78回日本生理学会大会, 2001, 3, 京都.
 - 6) 田渕英一, 古沢明美, 堀悦郎, 梅野克身, 小野武年, 西条寿夫: ラット後部帯状回ニューロンの感覚-報酬連合学習における応答性. 第78回日本生理学会大会, 2001, 3, 京都.
 - 7) 堀悦郎, 永福智志, 蒲池みゆき, 梅野克身, 田渕英一, 小野武年, 西条寿夫: 社会的注意における顔表情と視線方向の役割. 第78回日本生理学会大会, 2001, 3, 京都.
 - 8) 数井健一, 堀悦郎, 田渕英一, 梅野克身, 永福智志, 佐々木和男, 小野武年, 西条寿夫: VR呈示装置を用いた空間移動課題におけるヒトとサルの移動様式. 第78回日本生理学会大会, 2001, 3, 京都.
 - 9) Ono T.: Effects of red ginseng and its non-saponin fraction on place navigation learning in aged rats. The 5th Int. Conf. on Preventive Cardiology, 2001, 5, Osaka.
 - 10) 小野武年 (招待): 海馬体と記憶. 第16回日本老年精神医学会 シンポジウムI「ポストゲノム時代の痴呆研究」, 2001, 6, 大阪.
 - 11) 高倉大匡, 麻生伸, 渡辺行雄, 小野武年, 西条寿夫: 音順列記憶課題における事象関連電位. 第31回日本聴覚医学会ERA研究会, 2001, 7, 東京.
 - 12) 小野武年, 西条寿夫: 情動と行動. 第24回日本神経科学・第44回日本神経化学合同大会, 2001, 9, 京都.
 - 13) 田村了以, 小野武年: ラット海馬体と場所記憶. 第24回日本神経科学・第44回日本神経化学合同大会, 2001, 9, 京都.
 - 14) 川越隆, 旭雄士, 田村了以, 上野照子, 西条寿夫, 小野武年: ラット視床背内側核ニューロンの嗅覚条件刺激-報酬連合学習課題に対する応答性. 第24回日本神経科学・第44回日本神経化学合同大会, 2001, 9, 京都.
 - 15) 小村豊, 田村了以, 上野照子, 西条寿夫, 加我君孝, 小野武年: Predictability modulates thalamic response in stimulus-reward association. 第24回日本神経科学・第44回日本神経化学合同大会, 2001, 9, 京都.
 - 16) Wania C de Souza, 永福智志, 田村了以, 西条寿夫, 小野武年: Neuronal responses of the macaque anterior superior temporal sulcus: face-gaze interactions. 第24回日本神経科学・第44回日本神経化学合同大会, 2001, 9, 京都.
 - 17) 小林恒之, 西条寿夫, 小野武年, 松本元: ラット場所細胞応答の学習形成にともなう変化-経路形成との相関. 第24回日本神経科学・第44回日本神経化学合同大会, 2001, 9, 京都.
 - 18) 田渕英一, 梅野克身, 堀悦郎, 小野武年, 西条寿夫: 自由行動下ラットの多種脳領域からのニューロン活動記録. 第24回日本神経科学・第44回日本神経化学合同大会, 2001, 9, 京都.
 - 19) 堀悦郎, 田積徹, 永福智志, 田渕英一, 梅野克身, 小野武年, 西条寿夫: 表情識別遅延非見本合わせ課題におけるサル扁桃ニューロンの応答性. 第24回日本神経科学・第44回日本神経化学合同大会, 2001, 9, 京都.
 - 20) 数井健一, 堀悦郎, 田渕英一, 梅野克身, 佐々木和男, 小野武年, 西条寿夫: 仮想空間移動課題におけるサル海馬体ニューロンの応答性. 第24回日本神経科学・第44回日本神経化学合同大会, 2001, 9, 京都.
 - 21) 梅野克身, 高倉大匡, 堀悦郎, 田渕英一, 宮本啓一, 小野武年, 西条寿夫: 空間移動連想課題におけるヒト θ 波の課題依存的な活動性. 第24回日本神経科学・第44回日本神経化学合同大会, 2001, 9, 京都.
 - 22) 高倉大匡, 梅野克身, 堀悦郎, 田渕英一, 宮本啓一, 小野武年, 西条寿夫: 音順列記憶課題における事象関連電位と加齢による記憶力低下. 第24回日本神経科学・第44回日本神経化学合同大会, 2001, 9, 京都.
 - 23) 旭雄士, 永福智志, 田村了以, 林央周, 西条寿夫, 小野武年: サルのニューロン活動記録実験における磁気共鳴イメージングと軸補正処理の有用性. 第48回中部日本生理学会, 2001, 10, 愛知.
 - 24) 川越隆, 旭雄士, 田村了以, 上野照子, 西条寿夫, 小野武年: 嗅覚条件刺激-報酬連合学習課題におけるラット視床背内側核ニューロンの応答性. 第48回中部日本生理学会, 2001, 10, 愛知.
 - 25) 田渕英一, 梅野克身, 堀悦郎, 小野武年, 西

- 条寿夫：自由行動下ラット異種脳領域におけるニューロン間の相互相関解析。第48回中部日本生理学会，2001，10，愛知。
- 26) Furusawa A.A., Tabuchi E., Umeno K., Hori E., Ono T., and Nishijo H.: Rat hippocampal neuronal responses during a conditional delayed stimulus-response association task. 第48回中部日本生理学会，2001，10，愛知。
- 27) 高倉大匡，麻生 伸，渡辺行雄，小野武年，西条寿夫：音順列記憶課題における事象関連電位。第46回日本聴覚医学会学術講演会，2001，10，盛岡。
- 28) 小野武年（招待）：海馬と記憶。第10回海馬と高次機能学会 特別講演II，2001，11，群馬。
- 29) Komura Y., Uwano T., Tamura R., Nishijo H., and Ono T.: Neural correlation between the posterior thalamus perirhinal cortex in reward prediction. 31st Ann. Meet. Soc. Neurosci. 2001, 11, San Diego.
- 30) Wania C de Souza, Eifuku S., Tamura R., Nishijo H., and Ono T.: Face-gaze interactions in the neuronal responses of the macaque anterior superior temporal sulcus. 31st Ann. Meet. Soc. Neurosci. 2001, 11, San Diego.
- 31) Takakura H., Umeno K., Hori E., Tabuchi E., Miyamoto K., Ono T., and Nishijo H.: Analyses of event-related potentials in a sound-sequence discrimination task in young and aged humans. 31st Ann. Meet. Soc. Neurosci. 2001, 11, San Diego.
- 32) Umeno K., Takakura H., Sakai S., Miyamoto K., Tamura R., Ono T., and Nishijo H.: Relationship between gamma-EEG and autonomic functions during performance of mental arithmetic. 31st Ann. Meet. Soc. Neurosci. 2001, 11, San Diego.
- ◆ その他
- 1) 永福智志，Wania C de Souza，西条寿夫，田村了以，小野武年：前部側頭皮質「顔」応答ニューロンによる「顔」空間の表現。平成12年度生理学研究所研究会 脳の情報統合と行動発現のメカニズムー感覚認知から生体反応形成までー，2001，1，名古屋。
- 2) 小野武年（招待）：脳と心。宮崎医科大学心理学5周年記念講演会，2001，2，宮崎。
- 3) 小野武年：「脳と心」ー感情のメカニズムー。富山県理学療法士会学術研修会，2001，5，富山。
- 4) Ono T., and Tamura R.: Hippocampal rhythmic slow activity in freely moving monkeys. Joint France-Japan Symposium on Cognitive Neurosciences, 2001, 9, RIKEN, Saitama.
- 5) Nishijo H.: Hippocampal neuronal activity during navigation in the virtual space in monkeys. Joint France-Japan Symposium on Cognitive Neurosciences, 2001, 9, RIKEN, Saitama.
- 6) 田村了以：霊長類の海馬体脳波：サル海馬体には周期性徐波（ θ 波）活動が存在する。文部科学省科学研究費特定領域研究A「総合脳」平成12年度採択公募班員研究成果報告会，2001，12，東京。
- 7) 永福智志：サル上側頭溝前部における「顔」，「視線」および「声」のニューロン表現。文部科学省特定領域研究C「先端脳」平成13年度公開シンポジウム・班会議，2001，12，東京。
- 8) 小野武年：IV. 情動と思考のメカニズム。文部科学省特定領域研究364（平成8～11年度）「高次脳機能のシステムの理解」研究成果報告書，209-210，2001。
- 9) 小野武年，西条寿夫：IV. 情動と思考のメカニズム，6. 情動の神経機構。文部科学省特定領域研究364（平成8～11年度）「高次脳機能のシステムの理解」研究成果報告書，282-298，2001。
- 10) 小野武年，西条寿夫：大脳辺縁系・大脳基底核における情と意の出力機構ー本能，情動，生きる喜びー。平成12年度領域探索プログラム「情と意を科学するー一人とは何かー」報告書，10-24，353-367，2001。
- 11) 西条寿夫，小野武年：情と意における大脳辺縁系と連合野の役割ー生物学的価値評価，行動戦略の決定ー。平成12年度領域探索プログラム「情と意を科学するー一人とは何かー」報告書，49-65，379-389，2001。
- 12) 小野武年：座談会 時実利彦と21世紀の脳科学「時実利彦記念賞」受賞者を囲んで，週刊医学界新聞，第2432号，1-3，2001。
- 13) 田村了以：第30回北米神経科学学会大会印象記，週刊医学界新聞，第2432号，5，2001。
- 14) 小野武年：勤務医コーナー シリーズ・富山医薬大④感情と記憶の認知神経科学。医報とやま，1286，4，2001。